

# 新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン

令和4年3月9日

東京私立中学校ソフトテニス部

本ガイドラインは、新型コロナウイルス感染症の拡大を予防するため、東京都教育委員会・東京都高等学校体育連盟・(公財)日本スポーツ協会・(公財)日本ソフトテニス連盟から示されたガイドラインに基づき、留意点をまとめたものです。

## 【大会参加校・参加選手が遵守する事項】

- 1 発熱や風邪の症状、咳・痰・咽頭痛・強いだるさや倦怠感・息苦しさ・味覚、嗅覚に異常を感じる等の症状がある場合は、参加校の責任において当該生徒の参加を見合わせる。
  - 2 過去7日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合は参加を見合わせる。
  - 3 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合、或いは7日以内に感染者との接触や濃厚接触者と特定された場合は参加を見合わせる。
- ※ 参加者に感染が判明した場合は、参加者名簿を関係機関に公表することがあります。

## 【大会当日・会場での注意事項】

- 1 当日朝検温を行い、「参加承認書・健康確認書」を来場時に受付へ提出する。  
(健康チェックシートを活用し、1週間前からの選手の体調の様子を確認して下さい。なお、学校で使用しているものがある場合この書式を使う必要はありません。)
- 2 試合中以外は不織布マスクを常に着用する。予備のマスクも持参する。
- 3 感染症対策(マスク・手洗い・手指消毒・うがい・ソーシャルディスタンス等)を励行する。消毒用アルコール・手拭き用のタオル等は各自持参する。
- 4 咳エチケットを守る。
- 5 熱中症対策も十分にする。(こまめに水分・塩分・ミネラル等を補給する。)
- 6 大きな声での会話は控える。
- 7 飲食については、水分補給のみ認める。その際、会話は控える。
- 8 ゴミはすべて各自で持ち帰る。

## 【試合中の注意事項】

- 1 試合中には十分な距離を確保しながらマスクを外してプレーを行うが、試合の前後ではマスクを着用する。
- 2 会場内ではソーシャルディスタンスに気を配り、他人との距離を2m確保する。また、コート内においても出来るだけ2mの距離を確保する努力をするとともに、会話は対面で行わない。
- 3 試合開始前の挨拶、トス及び試合終了後の挨拶は、ネットから1m以上離れて行う。(試合終了後の選手間での握手は行わない。)
- 4 ペア間でのハイタッチや握手は行わない。
- 5 ラケット・タオル・ジャグ等はシェアせず、各自が用意する
- 6 ベンチコーチやベンチにいる選手は不織布マスクを着用し、声を出しての応援は控える。(ソーシャルディスタンスにも気を配る)
- 7 試合の前後には手洗い・手指消毒をする。
- 8 審判は選手との距離を2m以上保つ。

## 【大会終了後の注意事項】

- 1 大会終了後1週間以内に、参加者が新型コロナウイルス感染症を発症した場合、大会事務局に速やかに報告する。
- 2 複数の学校に感染者が出た場合、大会事務局から参加者に連絡します。その場合、大会後1週間の健康観察を求めることがあります。
- 3 感染者が出た場合、その学校や選手を非難したり、誹謗中傷したりすることがないように、参加校責任者は配慮する。
- 4 「健康チェックシート」は大会終了後1ヶ月間各学校に於いて保管し、その後廃棄する。なお、大会事務局から要請があった場合、チェックシートを提出する。

大会事務局

〒186-0004 東京都国立市中3-1-10

桐朋中・高等学校 下和田 貴之

TEL 042-577-2171 FAX 042-574-9898